

## 福島第一原子力発電所 土壌 Pu 分析結果

## 1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

| 採取場所<br>( )は1,2号機スタックからの距離 | 採取日<br>分析機関     | Pu-238                          | Pu-239, Pu-240                  |
|----------------------------|-----------------|---------------------------------|---------------------------------|
| グラウンド(西北西約500m)            | 6月6日            | $(1.7 \pm 0.14) \times 10^{-1}$ | $(6.6 \pm 0.80) \times 10^{-2}$ |
| 野鳥の森(西約500m)               | 日本分析センター        | N.D.                            | N.D.                            |
| 産廃処分場近傍(南南西約500m)          |                 | $(6.7 \pm 0.91) \times 10^{-2}$ | $(2.6 \pm 0.54) \times 10^{-2}$ |
| グラウンド(西北西約500m)            | 6月9日            | $(2.0 \pm 0.26) \times 10^{-1}$ | N.D.                            |
| 野鳥の森(西約500m)               | 日本原子力<br>研究開発機構 | N.D.                            | N.D.                            |
| 産廃処分場近傍(南南西約500m)          |                 | N.D.                            | N.D.                            |
| 国内の土壌                      |                 | N.D. ~ $1.5 \times 10^{-1}$     | N.D. ~ 4.5                      |

: 文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年~平成20年

: 「グラウンド」「産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

## 2. 評価

6月6日ならびに6月9日に検出されたPu-238とPu-239、240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、グラウンドならびに産廃処分場においては、3/21以降にサンプリングした試料からPu-238およびPu-239、Pu-240が検出されているが、値に大きな変化は見られていない。

以上